

高浜発電所 取水路清掃作業中の労働災害について

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

高浜発電所では、1号機の第23回定期検査の作業として、A、B取水路のうちA取水路の流れを止めた状態で、取水路の側壁や底部に付着している貝等を削り落とし、貝回収ポンプ（水中ポンプ）で回収する等の清掃作業（一部潜水作業）を8月中旬から行っている。

この作業を実施していた9月4日10時頃、貝回収ポンプに詰まりが生じたことから、同ポンプが自動停止し、潜水作業員（協力会社）が詰まりを除去した後、同ポンプの運転確認を行ったところ、潜水作業員の右手が貝回収ポンプにまきこまれ負傷した。このため、同ポンプを直ちに停止し、負傷者は自力で水中から浮上し、救急車にて直ちに病院に搬送され、現在、治療中である。

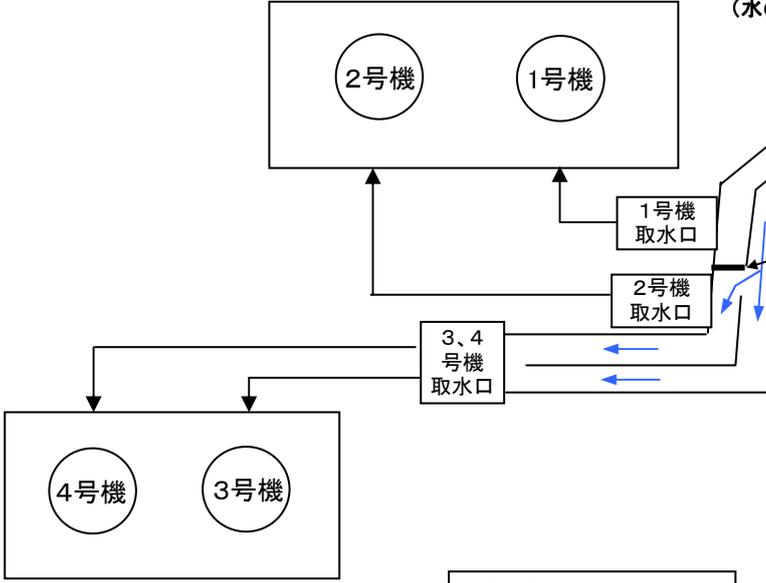
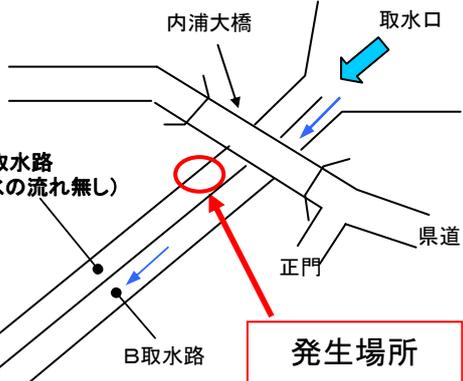
これまでの聞き取り調査では、負傷者が貝回収ポンプの詰まりを除去した後、負傷者の要請により陸上の監視員が同ポンプの電源を投入しポンプを起動したところ、負傷者からポンプの停止要請と右手を負傷した旨の連絡があったことがわかった。

今後、さらに詳細な聞き取り調査等を行い、今回の労働災害が発生した原因と、再発防止対策を講ずることとしている。

問い合わせ先（担当：藤内）
内線2353・直通0776(20)0314

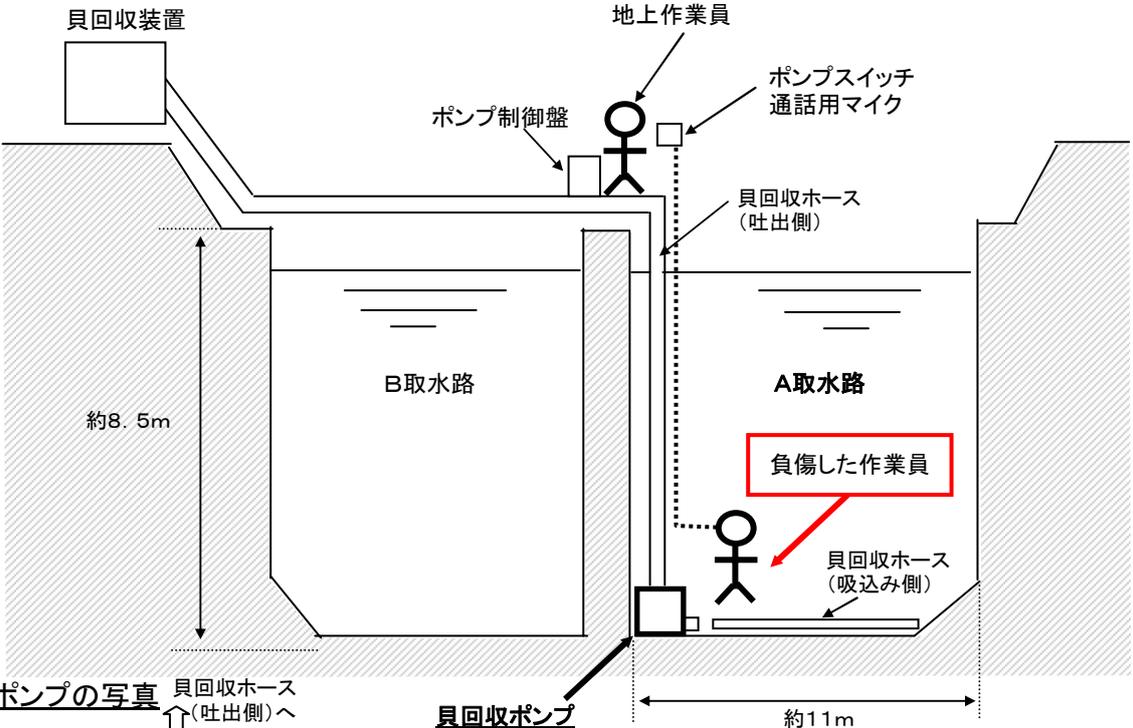
高浜発電所 取水路清掃作業中の労働災害について

発生場所

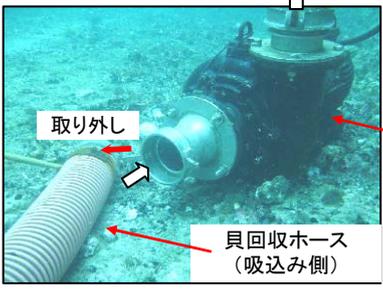


作業状況イメージ

取水路の写真



貝回収ポンプの写真



- 【貝回収ポンプ仕様】
長さ: 約1.1m
高さ: 約0.5m
重量: 約400kg
- 【貝回収ホース仕様】
直径: 約13cm
長さ: 10m × 5本